

パネリストのテーマとプロフィール

(*なお、講演テーマ、講師が変更される場合もあります。)

① 14:05~14:35

檜山 哲哉「温暖化するシベリアの自然とそこに生きる人々」

人間文化研究機構・総合地球環境学研究所・准教授。博士(理学)。生態水文学・水文気象学が専門。1995年に筑波大学大学院地球科学研究科を修了後、名古屋大学大気水圏科学研究所助手、名古屋大学地球水循環研究センター助教授および准教授を経て、2010年4月から現職。これまで、ロシア連邦・サハ共和国(東シベリア地域)を中心に、中国・陝西省(黄土高原)や安徽省(淮河流域)で野外調査を行ってきた。主な編著書に『新しい地球学 一太陽-地球-生命圏相互作用系の変動学一』(2008年名古屋大学出版会)、『Water and Carbon Cycles in Terrestrial Ecosystems』(2006年UNESCO-IHP)などがある。

② 14:35~15:05

齊藤 慶輔「サハリン開発とオオワシ ~12年間の調査から見てきたもの~」

猛禽類医学研究所代表、獣医師。1994年より釧路湿原野生生物保護センターで野生動物専門の獣医師として活動を開始し、2005年に猛禽類医学研究所を設立。絶滅の危機に瀕した猛禽類の保護活動の一環として、傷病個体の治療と野生復帰に努めるのに加え、保全医学の立場から調査研究を行う。近年、傷病・死亡原因を徹底的に究明し、その予防のための生息環境の改善を「環境治療」と称し、活動の主軸としている。また、北海道とサハリンを行き来しながらオオワシの保護活動にも力を注いでいる。WAWV(世界野生動物獣医師協会)理事、日本野生動物医学会理事、サハリン・ジャパン・ワイルドライフネットワーク代表、ワシ類鉛中毒ネットワーク事務局長。著書に『日本の希少鳥類を守る』(2009年京都大学学術出版会)、『野生動物のお医者さん』(2009年講談社)などがある。テレビ番組「プロフェッショナル仕事の流儀」、「ソロモン流」、「NEWS ZERO」などで紹介、東宝映画「ウルルの森の物語」の主人公のモデルとなる。



齊藤慶輔氏とオオワシ



③ 15:05~15:35

関 啓子「危機に瀕するアムールトラと極東の自然環境」

一橋大学大学院社会学研究科・教授。1971年一橋大学社会学部卒業。1976年一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。1994年社会学博士(一橋大学)。専門は比較発達社会史(教育思想史、教育社会学、比較教育学)、地球市民論(異文化間教育)、環境教育。エスニティー、エコロジー、ジェンダーをキーワードに、人間形成を研究している。主な著書に『環境教育を学ぶ人のために』(2009年世界思想社)、『ヨーロッパ近代教育の葛藤・地球社会の求める教育システムへ』(2009年東信堂)、『アムールトラに魅せられて一極東の自然・環境・人間』(2009年東洋書店)など。



関 啓子氏とアムールトラ

<休憩 15:35~16:00>

④ 16:00~16:30

山口 有次、バイカル「モンゴル高原の草原観光と環境問題」

山口有次:桜美林大学ビジネスマネジメント学群教授。1987年同志社大学工学部卒業。1996-2000年早稲田大学大学院理工学研究科。博士(工学)。専門は観光・レジャー施設計画。

バイカル:桜美林大学リベラルアーツ学群准教授。文学博士。専門はモンゴルの歴史と文化。モンゴル帝国および元朝の都である元上都(中国内モンゴル自治区正藍旗)における現地調査をもとに、モンゴル高原の草原観光施設による環境・景観破壊および、モンゴルの自然環境と宗教(特にオボ)の関係について発表する。

⑤ 16:30~17:10

藤井 晴雄「チェルノブイリ原子力発電所事故の全貌」

パート1、「事故発生から石棺、そして今後の計画」

パート2、「チェルノブイリ原発事故による放射線の影響」

愛媛大学工学部電気科1954年卒業。四国電力に入社、1974年から78年まで国際原子力機関(IAEA)、1986年から2000年まで(社)海外電力調査会に勤務。1986年のチェルノブイリ事故以降、大田憲司氏と共同でロシアの核開発の歴史を精力的に調査・分析し原子力工業誌に1987年から98年まで共著で連載。また、ロシアの「原子力関係研究所と10の秘密都市」、「原子燃料サイクル施設」、「放射性廃棄物の処理処分」などの報告書を作成。著書に『原子力発電の経済分析と核燃料産業の将来予測』(フジインターナショナル発行)、『詳細原子力発電プラントデータブック1985年版および1994年版(日本原子力情報センター発行)』。ユーラシア・ブックレットNo.14『ソ連・ロシアの原子力開発-1930年代~現在まで』(2001年東洋書店)

⑥ 17:10~17:20

片山 博文 総括コメント

桜美林大学リベラルアーツ学群教授。東京大学文学部ロシア語・ロシア文学科卒業。一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位修得退学。専門は環境経済学、比較経済体制論。エコロジー経済学、コモンズ論、ロシアの環境問題に関する研究を行う。著書『自由市場とコモンズ』(2008年、時潮社)。

⑦ 17:20~17:50 参加者との質疑・討論

モデレーター 澤野 由紀子(聖心女子大学文学部教育学科教授)